こんにちは。さいとう石材です。

でしていている。

本 社

TEL0229-67-3036

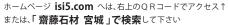
宮城県加美郡加美町字中原 25-14 メール:isi@isi5.com

古川店

геL0229-28-3744

宮城県大崎市古川休塚目見田 1-3

糕齋藤石材



スタッフより

秋のお彼岸も終わり、今年も残りわずかとなりました。

コロナ禍もまだまだ落ち着く気配もありませんが 今年一年を振り返るため良いお時間をお過ごし くださいませ。

(株)齋藤石材 齋藤久美子

伊東忠太の建築に棲まう動物たち

行動や好奇心が活発になる秋になりました。今回は芸術の秋にちなみ、11月生まれの建築家・伊東忠太について紹介します。 生まれは、江戸末期の1867(慶応3)年。明治、大正、昭和にかけ、建築史家、建築家として活躍しました。

ご存知でない方でも、代表作の築地本願寺については、日本の お寺の外観とは大分雰囲気の違う、ドームがついた特徴的な外 観を思い浮かべる方は多いのではないでしょうか。このお寺 は、インドの古式仏教建築を元にした意匠をもち、今でも異彩



を放っています。ほかにも湯島聖堂、大倉集古館、一橋大学兼松講堂など、多くの建築物を手がけています。 その様式は、日本の伝統的建築、西洋風、インド風まで様々ですが、共通点を挙げると、建物の内外に動物 や幻獣たちを棲まわせていること。忠太は幼い頃から妖怪好きで、中国やインドを旅した際にも建物に 飾られた幻獣たちに惹かれていたといい、「妖怪研究」という著書があるほどです。

幻獣たちの多くは石造りで、当時の石工が担ったものでしょう。翼のついた獅子といった、不思議な生き物たちが描かれた図面に、石工たちはさぞ戸惑ったのではないでしょうか。

彼らが試行錯誤しながら、つくり出していく様子が目に浮かびます。伊東忠太の想像力や石工たちの技術力を伝える幻獣たちを、今も間近に見て触れることができるのも、石像ならではの魅力でしょう。

>つもと違うお線香 てみませんか

のお線香を供えて、ご先祖様とじっくり語り合う ぼっていく煙を見つめていると、心が安らいでい お墓参りで上げるお線香。香りに包まれ、天にの くのがわ きよい てみたいですね -から販売されています。どんな香りか、是非試 お参りの季節に合わせた線香も各メ ものです。 かります。久々のお墓参りでは良い香り 「秋の紅葉をイメ











と世のススメーその2(遺産相続の窓口案内)

「生前整理」の第2回として、相続について取り上げます。エン ディングノートの回でも触れたように、まずは不動産や預貯金、 生命保険などの財産を把握し、ノートなどに記録しておきましょ う。そのうえで「一部を寄付したい」等、希望がある場合は遺言書 を作成しておくと安心です。

自分で書くこともできますが、書き方は法律で決められているの で専門家に依頼するのをおすすめします。右に挙げたように、専 門分野は様々ですので、目的に合うところを選びましょう。



石材店

お墓の相続については 次号で取り上げます



今月のスケジュール

食欲の秋、遠方の名産品のお取り寄せも良いですね。

10月31日(日) …ハロウィン

11月15日(月) …七五三

11月3日(水) …文化の日

11月23日(火)…勤労感謝の日

11月7日(日) …立冬

定休日

加美町本社 第1・3・5土曜・日・祝が定休日です

大崎市古川店:木曜日が定休日です(各シフトによります)

※随時対応いたします

今月のお花~金木屋(キン

どこからともなく漂う甘い花の香りが 秋の到来を感じさせます。三大香木と して名高く、「桂花露香」(けいかつゆ かぐわし)という禅語も。名は樹皮が 「犀」(サイ) の足に似ていることに由

